

学習指導要領		練馬工業高校 学カスタンダード
A 話 す こ と・ 聞 く こ と	ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。	ア 自己紹介したり、感想を話したりすることができる。敬語や正確な日本語などを用いて、目的や場に応じた言葉遣い・話し方ができる。
	イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。	イ 話し手の話をきちんと聞き、話の要点についてメモをとりながら理解することができる。
	ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。	ウ 話し合いの目的をしっかりとってお互いの考えを理解・尊重し、自分の考えを深めることができる。
	エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	エ 自己評価や相互評価を通して自分の話し方や言葉遣いを見直し、様々なものの見方、感じ方、とらえ方があることに気づき、自分の表現を深めることができる。
B 書 く こ と	ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。	ア 敬語や正確な日本語などを用いて、相手に応じた文体や語句を用いて文章を書くことができる。 [具体的な設定例] ・話し言葉と書き言葉を区別し、書き言葉を使って文章を書くことができる。 ・与えられた題材に即して自分が体験したことや考えたこと、身の回りのことなどから目的に応じた材料を集めることができる。
	イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。	イ 自分の感想や考え方の根拠を示すことができる。
	ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。	ウ 主観的なことと客観的なことを区別し、具体的な物や手順などをわかりやすく説明することができる。
	エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	エ 自己評価や相互評価を通して良い文章の条件に気づくことができる。 ・義務教育段階の漢字が使われている文章を正確に音読することができる。
	C	

学習指導要領		練馬工業高校 学カスタンダード
読むこと	ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	ア小説の表現や韻文のリズムを音読を通して味わうことができる。
	イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	イ 段落の内容を読み取ったりまとめたりすることができる。
	ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	ウ 小説では、登場人物を押さえ、行動や心情の変化をとらえることができる。
	エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	エ 様々な文章の構成や展開を確かめ、書き手の主張をとらえたりすることができる。
	オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。	オ 様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を参照して、自分の考えを深めることができる。 [古文] ・歴史的仮名遣いに注意して、文章を音読することができる。 [漢文] ・訓点・置き字などに従って、文章を音読すること。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。	ア 日本の言語文化の特質やわが国の文化と外国の文化の関係について気づくことができる。
	イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。 (イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。	イ 歴史的仮名遣いを理解して言語の決まりや訓点の決まりを学習することで、現代文との違いを理解し、音読ができる。
	ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。	ウ 義務教育段階の漢字を正しく使うことができる。